総合調査室(B)	建物	0円	1,000,012円
調査脱穀選抜室	建物	0円	1,530,681円

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【近畿中国四国農業研究センター大田研究拠点　硝子室】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

資　産　名　称	用　途	場　所	種　類	帳簿価額
硝子室	研究業務用	島根県大田市	建物	850,296円

イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、草地飼料研究のため育苗用施設として使用してきましたが、経年劣化による老朽化が著しいことから使用しないと決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

資　産　名　称	種　　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
硝子室	建物	0円	850,296円

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【近畿中国四国農業研究センター四国研究センター　土地基盤実験棟ほか】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

資　産　名　称	用　途	場　所	種　類	帳簿価額
土地基盤実験棟及び附属設備	研究業務用	香川県善通寺市	建物	8,776,713円
			構築物	3,237円
調査室及び乾燥室	研究業務用	香川県善通寺市	建物	542,313円
展示室及び附属設備	研究業務用	香川県善通寺市	建物	6,341,109円
			構築物	1,162円

イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、土壌の物理性等に関する研究及び試料調査等の研究用施設として使用してきましたが、他の施設へ機能を集約することから使用しないと決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

資　産　名　称	種　　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土地基盤実験棟及び附属設備	建物	0円	8,776,713円
	構築物	0円	3,237円
調査室及び乾燥室	建物	0円	542,313円
展示室及び附属設備	建物	0円	6,341,109円
	構築物	0円	1,162円

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

②　当事業年度において減損の兆候が認められた固定資産は以下のとおりです。

【野菜茶業研究所武豊野菜研究拠点】

ア　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

資　産　名　称	用　途	場　所	種　類	使用しなくなる日
野菜茶業研究所武豊野菜研究拠点	研究業務用	愛知県知多郡武豊町	土地	平成26年度以降
			建物	
			構築物	

イ　兆候の概要

武豊野菜研究拠点は、第３期中期計画において組織を見直す小規模な研究拠点となっており、平成26年度末までに研究機能をつくば野菜研究拠点へ移転・統合することとしているため、使用しなくなる日以後に処分することとしております。

ウ　減損の認識に至らない根拠

当該資産は、当事業年度期末時点で使用しております。

エ　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

資産名称	種　類	帳簿価額	回収可能サービス価額（見込額）	減損額（見込額）
野茶茶業研究所武豊野菜研究拠点	土地	7,454,468,333円	7,454,468,333円	―
	建物	97,357,098円	0円	97,357,098円
	構築物	36,177,977円	0円	36,177,977円

土地については、処分方法・時期が決定しておりませんので、回収可能サービス価額（見込額）は、当事業年度の期末帳簿価額を計上しております。